

**日本 NP 教育大学院協議会 NP 教育課程認定に関する細則(別表)**

項 目	規 程
NP 教育課程の目標	NP の教育においては、個々の患者の医療ニーズを包括的に的確に把握し、倫理的かつ科学的な根拠に基づき、患者および患者家族の QOL の向上に向けた看護、医療を提供できる人材の育成を目標とする。
NP に必要とされる能力	<p>NP に必要とされる能力 (7つのコンピテンシー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 包括的健康アセスメント能力 Comprehensive health Assessment</li> <li>② 医療的処置マネジメント能力 Medical Procedures and their Management</li> <li>③ 卓越した看護実践能力 Excellence in Nursing Practice</li> <li>④ 看護マネジメント能力 Nursing Management</li> <li>⑤ チームワーク能力 Teamwork</li> <li>⑥ 保健医療福祉制度の活用・開発能力 Development and Utilization pf Health and Welfare System</li> <li>⑦ 倫理的実践能力 Ethical Practice</li> </ul>
NP 教育課程への入学要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日本国の看護師の免許を取得していること</li> <li>② 5 年以上の看護職としての経験があること</li> </ul>
NP 教育課程における教育の要件	<p>1) NP 教育課程 (学位: 修士) の必要な単位数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校教育法上の大学院修士課程の単位数を満たしていること</li> <li>② 修了要件が 55 単位以上であること</li> <li>③ 実習単位として 15 単位以上が含まれていること</li> <li>④ 学校教育法に定められた課題研究 (または修士論文) に関わる単位が (5 単位以上が望ましい) 含まれていること</li> </ul> <p>2) 教育内容として含める必要のある授業科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① NP の役割と責任に関する科目</li> <li>② 3P (フィジカルアセスメント、臨床薬理学、病態機能学) に関する科目</li> <li>③ 包括的健康アセスメントに関する科目 (フィジカルアセスメント、フィジカルイグザミネーションを含む)</li> <li>④ 医療処置・管理に関する科目</li> <li>⑤ 熟練した看護実践に関する科目 (症状マネジメント、患者教育、コ</li> </ul>

	<p>ンサルテーション、健康増進・疾病予防を含む)</p> <p>⑥ 看護マネジメントに関する科目（医療安全、人材育成、スタッフ教育を含む）</p> <p>⑦ チームワーク・協働に関する科目</p> <p>⑧ 保健医療福祉に関連した法律に関する科目</p> <p>⑨ 課題研究あるいは修士論文に関する科目（研究手法等を含む）</p> <p>⑩ 生命倫理・医療倫理に関する科目</p> <p>3) 教育方法に関する要件</p> <p>① 講義、演習、実習の授業形態の組合せ・バランスが適切であること</p> <p>② 講義、演習、実習の教育内容に応じた適切な指導教員、施設、設備等が整備されていること</p> <p>4) 修了に関わる基準</p> <p>① 各 NP 教育課程で成績評価基準、修了認定基準が策定されていること</p> <p>5) 教育担当者に関する要件</p> <p>① NP を育成するための教員が、NP・医師等を含めて必要数確保されていること</p> <p>② 医学に関する授業科目には、医師の教員を配置していること</p> <p>③ 研究指導を行う教員が確保されていること</p>
--	--